



# Spectrum SL Multi-Temp操作方法(μPIV)



## 1. 運転 (ゾーン1前室・ゾーン2後室両方を運転)

ホストユニット ①ゾーンスイッチ1をON  
②ゾーンスイッチ2をON

両方ONにします。

このユニットは自動的にエンジンが始動しコントロールしますので注意して下さい。

リモートコントローラー ③ ④   
をONにすると庫内温度の確認とセットポイントの変更が出来ます。

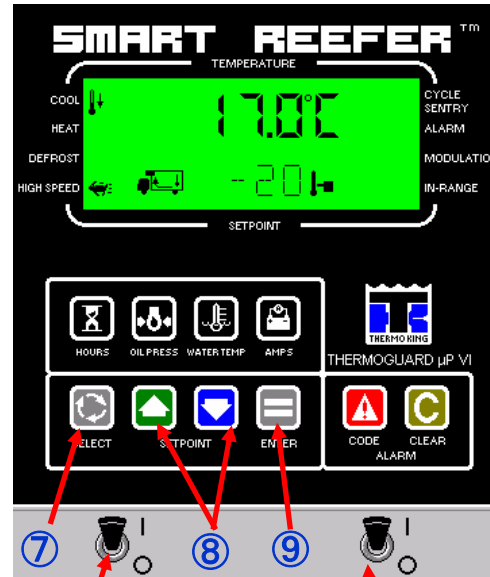
## 2. 停止 (ゾーン1前室・ゾーン2後室両方を停止)

リモートコントローラー ⑤ ⑥   
を押し停止が可能です。

ノート:⑥ でゾーン2後室だけを停止出来ますが、⑤ でゾーン1前室だけの停止は出来ません。

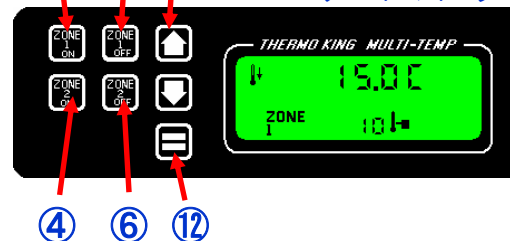
配送終了後ホストユニットのゾーンスイッチ  
①・②をOFFにし完全に停止させて下さい。

ホストユニットコントローラー



①ゾーン1スイッチ前室  
③ ⑤ ⑪ ②ゾーン2スイッチ後室

リモートコントローラー



## 3. セットポイント温度 の変更

(ホストユニットコントローラにて)

- ⑦ セレクトキーにて変更したいゾーンを選びます
- ⑧ アップ・ダウンキーで希望温度に合わせ
- ⑨ エンターキーを押し決定させます。

(リモートコントローラにて)

- ③ ④ にて変更したいゾーンを選びます
- ⑪ アップ・ダウンキーで希望温度に合わせ
- ⑫ エンターキーを押し決定させます。

:アップダウンキー :エンターキー

:セレクトキー :ゾーンON/OFFキー

エンジンオイル量 ・ エンジン冷却水量 ・ ベルト傷の有無 は毎日運行前に点検です。



# Spectrum SL Multi-Temp操作方法(μPIV)



## 4. 連続運転・サイクルセンチュリー選択 (自動発進停止)

を押し **CYCL** 出します  
 で **YES NO** を選択  
**YES** はサイクルセンチュリー  
**NO** は連続運転  
 を押し決定させます。

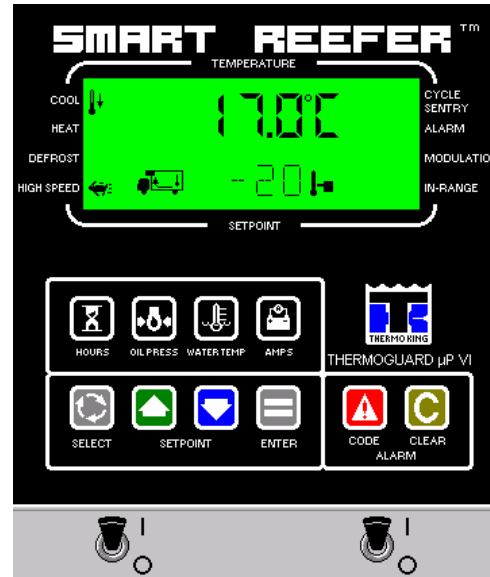
作動の詳細は取扱説明書参照願います

## 5. 手動霜取り

霜取りはコイル温度が7℃以下の時に限ります。

を押し希望ゾーンで **DEF** マークを出し を押し決定します。  
 霜が無くなると自動的に冷却運転に戻ります。

- : 合計運転時間を表示
- : エンジンの油圧状況を表示
- : エンジンのクーラント温度を表示
- : バッテリーへの電流量を表示



## 7. 総合自己点検(プレトリップテスト)

アラームの無い事を確認してください

①ゾーン1スイッチをONにしますユニ  
 ニットが作動する前に

TKロゴキーを3秒間押します  
**P-E** が出たら を押しスタート  
 させます。

**PASS** で正常です。

異常の時は **FAIL** が表示アラーム  
 が出ます。

## 6. アラーム 点灯したら

コードキーを押すとアラーム  
 番号が表示されます。

複数ある場合が有ります、数回押し  
て番号を順番に記録して下さい。

### アラーム解除

コードキーを押し、アラーム  
 番号が表示されている時に

を押し消します

全てのアラームが解除されると  
**00** になり、自動的に運転を  
 開始します。

解除してもアラームが何度も点灯  
する時はサービスが必要です。